

記者資料提供（令和3年8月19日）

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
クラスター推進センター 都市運営課 塚口・松浦
TEL：078-306-2230



令和3年度 神戸医療産業都市研究開発助成金 交付事業者が決定しました

神戸医療産業都市に集積した企業や研究機関・大学、医療機関等の連携融合を一層強化し、新たなイノベーションの創出を促進することを目的とした「神戸医療産業都市研究開発助成金」は、令和2年度に引き続き社会情勢等を鑑み、社会貢献性が極めて高い対策（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係る新たな技術や製品・サービスの創出に繋がると認められる研究・事業も対象事業に加え、4月5日～5月12日の期間で公募を実施しました。

厳正な審査の結果、下記のとおり交付決定しましたのでお知らせします。

記

1 交付決定（詳細は別紙のとおり）

共同研究・共同事業枠 交付決定3件

| 申請者名 | 研究・事業名 |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 株式会社 Integral Geometry Science | 耐ウイルスプラズマシールドテクノロジーの実現 |
| 国立大学法人徳島大学 | 新型コロナウイルス感染症に対する抗体カクテル療法の開発 |
| ユナイテッド・イミュニティ株式会社 | T細胞ワクチンの抗原提示最大化技術の開発 |

若手研究者支援枠 交付決定5件

| 申請者名 | 研究・事業名 |
|--|-------------------------|
| 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院／鳥居 裕太 | 下肢陽圧負荷心エコーによる早期CTRC D検出 |
| 国立大学法人神戸大学／細川 友誠 | 脂肪組織の健康的増大機構の解析 |
| 国立大学法人神戸大学医学部附属病院／十河 正弥 | 集中治療患者の自動脳波解析システムの開発 |
| 兵庫県立こども病院／植村 優 | COVID-19 血管炎の病態解明 |
| 国立研究開発法人理化学研究所／酒巻 太郎 | 移植後ウイルス感染根治に向けた基礎的実験 |

（五十音順）

2 審査方法

機構内部で助成要件との合致の確認及び専門的知見を有する複数の職員による研究・事業内容の一次評価の後、選定委員会において予算額も踏まえて採択案を検討し、理事長が交付決定。

【選定委員】（50音順）

- 石野 竜一郎（神戸市 医療・新産業本部 医療産業都市部長）
- 鍋島 陽一（神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター長）
- 花谷 忠昭（神戸医療産業都市推進機構クラスター推進センター統括監）
- 東口 高志（日本イーライリリー株式会社 研究開発戦略・政策本部 エグゼクティブディレクター）
- 南 康博（神戸大学 大学院医学研究科長・医学部長）
- 横山 誠一（元アスピオファーマ株式会社 代表取締役社長）

（参考）助成制度の概要

○神戸医療産業都市研究開発助成金

1. 対象者

（1）共同研究・共同事業枠

神戸医療産業都市に拠点を有する大学、研究機関、医療機関または企業等の法人、もしくは神戸市内に拠点を有する大学、研究機関または医療機関

（2）若手研究者支援枠

上記（1）に該当する法人に所属する、令和3年4月1日時点で満40歳未満の研究者・技術者等

2. 対象事業

（1）共同研究・共同事業枠

神戸医療産業都市の発展に資する新たな技術や製品・サービスの創出に繋がると認められ、かつ他の企業や団体（神戸市外に立地するものでも可）と共同で行われる研究・事業

※社会情勢等を鑑み、社会貢献性が極めて高い対策（新型コロナウイルス感染症（COVID-19））に係る新たな技術や製品・サービスの創出に繋がると認められ、かつ他の企業や団体と共同で行われる研究・事業も対象事業とします。

（2）若手研究者支援枠

神戸医療産業都市の発展に資する新たな技術や製品・サービスの創出に繋がると認められる研究

※社会情勢等を鑑み、社会貢献性が極めて高い対策（新型コロナウイルス感染症（COVID-19））に係る新たな技術や製品・サービスの創出に繋がると認められる研究・事業も対象事業とします。

3. 助成金額

（1）共同研究・共同事業枠

対象経費の合計額の2分の1以内（限度額1,000万円）

（2）若手研究者支援枠

ア. 対象者が大学・研究機関・医療機関に所属する場合

対象経費の合計額の10分の10以内（限度額250万円）

イ. 対象者が企業に所属する場合

対象経費の合計額の2分の1以内（限度額250万円）

4. 助成対象期間

令和3年4月1日から令和6年3月末日までの3年を上限とします。

◇関連リンク◇

神戸医療産業都市推進機構 クラスター推進センター 助成金・補助金のご案内

<https://www.fbri-kobe.org/cluster/support/jyosei1>

令和3年度 神戸医療産業都市研究開発助成金

【共同研究・共同事業枠】 交付決定3件（申請25件）

| 申請者法人名 | 共同先法人名 | 研究・事業名 | 研究・事業の概要 | 連絡先 |
|---------------------------------|--|-----------------------------|---|--|
| ① 株式会社Integral Geometry Science | 国立大学法人神戸大学 数理データサイエンスセンター 木村建次郎研究グループ | 耐ウイルスプラズマシールドテクノロジーの実現 | 本研究では、ヒトから排出された飛沫に由来する飛沫感染、空気感染を効果的に防ぐために、飛散ウイルスを効率的に分解除去する、次世代型の空気清浄システム、耐ウイルスプラズマシールドテクノロジーを実現することを目指します。 | 株式会社Integral Geometry Science 鯉島 美穂 078-533-6723 |
| ② 国立大学法人徳島大学 | 株式会社カン研究所 | 新型コロナウイルス感染症に対する抗体カクテル療法の開発 | 新型コロナウイルス感染症を対象とした新規中和抗体療法の確立を目的に、これまでに見出した各種変異ウイルスを広く中和可能なモノクローナル抗体群を高機能化すると共に、その認識部位の決定を行う。 | 蔵本事務部医学部総務課管理係 北岡 亜紀子 088-633-9119 |
| ③ ユナイテッド・イムニティ株式会社 | 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター 個体バタニング研究チーム | T細胞ワクチンの抗原提示最大化技術の開発 | ウイルスやがんに対するワクチンとして、特異的T細胞の誘導に優れる長鎖ペプチドワクチンやmRNAワクチンが世界的に注目されている。T細胞誘導能力を最大化するためのワクチン抗原配列最適化技術を開発する。 | 代表取締役 最高技術責任者 原田 直純 090-6242-4111 |

【若手研究者支援枠】 交付決定5件（申請18件）

| 申請者法人名 | 研究者役職・氏名 | 研究・事業名 | 研究・事業の概要 | 連絡先 |
|--|-----------------------------------|------------------------|--|---|
| ① 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 | 臨床検査技術部 臨床検査技師 鳥居 裕太 | 下肢陽圧負荷心エコーによる早期CTRCD検出 | がん治療が進歩する一方、がん治療関連心筋障害(CTRCD)による治療の妨げが問題となっている。下肢陽圧負荷心エコー法を用いて、早期CTRCDの検出に有用な心エコー指標を探索することを目的とする。 | 臨床検査技術部 鳥居 裕太 078-302-4321 |
| ② 国立大学法人神戸大学 | 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学分野 医学研究員 細川 友誠 | 脂肪組織の健康的増大機構の解析 | 脂肪組織が正常な機能を維持しつつ増大する「脂肪組織の健康的増大」について、モデル動物及び肥満症患者を用いた検討により、その発症機序を解明し、新規な抗糖尿病・抗肥満薬開発に資する知見を得ることを目指す。 | 神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学分野 細川 友誠 078-382-5861 |
| ③ 国立大学法人神戸大学 医学部附属病院 | 脳神経内科 助教 十河 正弥 | 集中治療患者の自動脳波解析システムの開発 | 集中治療・意識障害患者における持続脳波モニタリングの自動解析システムを開発することで、脳機能の評価を簡易にし、非けいれん性てんかん重積等の異常所見の早期検出、介入による重症患者の予後改善を目指す。 | 脳神経内科 十河 正弥 078-382-5885 |
| ④ 兵庫県立こども病院 | 血液・腫瘍内科 医長 植村 優 | COVID-19血管炎の病態解明 | COVID-19血管炎に類似した症状を呈する川崎病をモデルとして、申請者らが開発した独自の単球サブセット解析を行いCOVID-19と川崎病の血管炎増悪に共通するメカニズムの解明を行う。将来的に単球を軸にした新規治療開発を目指す。 | 血液・腫瘍内科 植村 優 078-945-7300 |
| ⑤ 国立研究開発法人理化学研究所 | 生命機能科学研究センター 研究員 酒巻 太郎 | 移植後ウイルス感染根治に向けた基礎的実験 | 造血幹細胞移植後は様々なウイルス感染症を発症する。本研究では、微量ウイルスを検出可能な高感度検出法を開発することで、早期治療介入による治療成績向上を目指す。 | 生命機能科学研究センター 酒巻 太郎 078-306-3269 |

社会情勢等を鑑み、社会貢献性が極めて高い対策(新型コロナウイルス感染症(COVID-19))に係る新たな技術や製品・サービスの創出に繋がる研究・事業申請は下記の通りとなります。

- ・共同研究・共同事業枠 ①,②,③
- ・若手研究者支援枠 ④